

# 伊藤さん、社会保障への信頼 どう取り戻す？



伊藤 達也さん

首相補佐官

小泉内閣で金融副大臣として金融再生プログラムのとおりまとめにあたった後、金融相などを歴任。46歳。

## 成長国家の姿を描く

伊藤達也元金融相が社会保障担当の首相補佐官に就任した。福田首相肝いりの社会保障国民会議を裏方で支える役回りだ。与党内からは「改革派の官邸入り」と警戒の声もあがる。年金記録問題を始め、社会保障制度に対する国民の信頼は大きく揺らいでいる。信頼回復の糸口は見つかるのか。伊藤氏に聞いた。

### ざっくばらん

▼社会保障国民会議が始まりました。を超えたものになるか

「国民会議という名前には、総理の強い思いがある。国民と双方向で議論できる工夫をしなくてはいいけない。インターネットでの対話があるかもしれない。委員を固定することなく、テーマによってはいろんな方々に参加していただくことも必要だ。厚生労働省の所管

が不公平な扱いを受けな

いようにする。次の世代

につけを先送りしない」

▼参加しなかった民

主党には、今後も呼びか

けますか。

「国民の広い対話の中

に、政党関係者がいるこ

とはいい。むしろ非常に

大切だと思う。いつでも

門戸は開いている」

▼負担増も議論の対

象になりますか。

「日本経済がどう成長

するのか、行政の効率化

をどう進めるのかで決ま

ってくると思う」

▼消費税は。

「私が個別の税制につ

いてコメントする立場に

はない。総理のご指示を

いただきながら、負担と

社会保障国民会議 社会の将来のあり方を検討するため、福田首相が設置。1月に初会合が開かれた。メンバーは塩川正十郎元財務相や奥田碩・前日本経団連会長、高木剛連合会長ら15人。座長は吉川洋東大院教授。「雇用・年金」「医療・介護・福祉」「少子化・仕事と生活の調和」の3つに分科会に分かれ、6月ごろに中間報告、9月に最終報告をまとめる予定だ。



▼補佐官がかつてま

とめた、社会保障費を5

年間で1兆1千億円削減

する方針に、厚労省や与

党からは「これ以上の削

減は無理」との声が上が

っています。

「5年間に11兆〜14兆

円の歳出を削減し、プラ

イマリーバランスの黒字

化を実現していく枠組み

は決めている。堅持し

て、改革を着実に進めて

いくことが大切だ」

▼年金記録問題の名

寄せ作業の期限が3月末

に迫っています。

「舛添厚生労働相のも

とで統合作業が一生懸命

要だ」

▼自民党内には、中

川元幹事長や竹中元総務

相に近い伊藤補佐官の就

任で「小泉構造改革路線

に戻るのではないか」と

いう反発があります。

「いま日本をとりまく

環境は大きく変わろうと

している。活力と誇りの

ある国造りをやっていき

たい。もう一度日本が成

長するエネルギーを取り

戻していく、成長国家日

本としての姿を描きた

い。他方、いろんなご意

見は承知している。私も

真摯に受け止める」

(聞き手・円満亮太)